

## 各データベース概要

資料2-2

|                            | データ種類<br>内容   | 提供元  | 登録者数/ダウンロード数/ユーザー<br>種別   | サーバー概要   | 運営主体、原資   | データポリシー、利用制限<br>等  |
|----------------------------|---|--|---|--|---|--|
| DIAS                       | 衛星観測データ、河川テレメーター、Cバンドレーダー、XバンドMPレーダー、再解析データ、気候変動予測データ、ダウンスケーリングデータ等           | 気象庁、JAXA、国土交通省、気象研究所、東京大学、環境省、JAMSTEC、文部科学省等                                     | 登録データ量: 2.67 PB(2015年度)<br>ユーザ数: 1,784人(2015年度)<br>データダウンロード数: 約85万ファイル、28,000GB(2014年度); 約123万ファイル、9,000GB(2015年度) | 解析サーバ<br>大容量ストレージ(27PB)<br>(ディスクアレイ、テーブライ<br>アリ)<br>高速ネットワーク(SINET5) | 文部科学省   | DIASのデータ利用ポリシーは、第1にデータ提供機関のデータ利用規約を優先する。データ提供機関の定めがない場合は、DIASのデータ利用規約を適用することとし、研究及び教育目的に利用可。 |
| J-DOSS<br>(海上保安庁)          | 各層データ、海洋生物、海流、潮流、流速計、海洋汚染、地球物理、海洋情報、統計プロダクト、等                                 | 51件(2015年度)<br>(国土交通省地方整備局等、国土地理院、気象庁、産総研、JAMSTEC、港湾空港技術研、自治体水産試験場、三重大学、海上保安庁、等) | DL数: 16,215件(2015年)<br>大学・研究機関: 35%<br>民間: 33%<br>一般: 23%   |  | 海上保安庁   | オープンポリシー(無償、無制限)<br>クリアリングハウス及び海洋台帳  |
| 全国日別<br>1kmメッシュ農業<br>気象データ | 気温(日平均、日最高、日最低)<br>降水量、日照時間、全天日射量、下向き長波放射量、日平均相対湿度、日平均風速、積雪深、積雪相当水量、日降雪相当水量、等 |  | 登録者数: 153件(年約30件増加)<br>農業関係機関、ICT事業者、農業生産者  | 農林水産研究情報総合センター・バーチャルラボシステム。<br>データ転送プロトコルは、OPeNDAPを利用                | 農研機構、一部の開発<br>経費はSIP  | 農研機構は、特定向け気象<br>予報業務許可を取得している。<br>SIPで、気象事業者への技術<br>移転を目指した共同研究を実<br>施中                      |
| 気象データ<br>(気象庁)             | 観測データ、解析・予測データ、防災気象情報   | 気象庁、国内外の関係機関   | 1日に集配信する気象データ量: 1.6TB<br>(2014年度)   | 気象庁ホームページで公開す<br>る他、気象業務支援センター<br>を通じてデータ配信                          | 気象庁、気象業務支援<br>センター  |  |
| J-IBIS<br>(環境省)            | 生物多様性センターによる調査等<br>データ・報告書、ライブカメラ画像、一般の調査報告(いきログ等)、GIS<br>データ。                | 生物多様性情報システム、インターネット自然<br>研究所、いきものログ、自然環境調査Web-GIS                                | アクセス数: 407万件/月(2015年実績)<br>一般・民間等。<br>いきものログ登録ユーザ: 2,491名(H29.1現在)<br>DL件数(GISデータ): 14,400件(2016年4~11<br>月)         | Web/APIと各サブシステムDB<br>で分離。<br>1CPU/12コアないし8コアの<br>H/Wでサーバ構成。          | 環境省生物多様性セ<br>ンター  | 掲載内容は自由に利用可(一<br>部コンテンツを除く)  |
| GBIF<br>(環境省)              | 地球規模での生物多様性情報が<br>約7億件。Ex)標本データ、観測<br>データ                                     | 国立遺伝学研究所、国立科学博物館   | 参加国: 57か国(米、独、仏、英、韓国、豪、オランダ、ベルギー、日本、等)及び39機関<br>(ASEAN Centre for Biodiversity; ACB等)、計<br>96の国・機関が参加。              | 各国の拠点(ノード)を経由し<br>てデータを収集。   | 日本ノード運営委員会<br>が文部科学省(ナショナルバイオリソースブ<br>ロジェクト)の資金的支<br>援を受け運営   | オープンデータのため利用者<br>に制限なし   |
| CEReSデータベース                | 衛星データ(静止気象衛星、極軌道、周回軌道衛星)、観測データ、地理情報データ、衛星画像集等                                 | NOAA、MODIS、ひまわり、MTSAT、GOES9、等  | DL数(ファイル数): 50,026,637件(2015年)  |  | 千葉大学環境リモート<br>センシング研究センター   | 学術、教育目的が優先される<br>が商用利用也可。原則、無料。  |
| CGIS Japan                 | 各種GISデータ(行政界、道路、鉄道、海岸線、河川、湖沼、流域界、植生、3字メッシュ、標高、傾斜、地上開度、地下開度)                   |  | 登録者数: 429機関(2016年5月時点、<br>個人、研究機関、民間などの全合計)<br>DL数: 483件(2012年6月~2015年5月)   |  | コンサベーションGISコンソーシアムジャパン<br>(コンサベーションイン<br>ターナショナルジャパン、ESRIジャパン株式<br>会社、酪農学園大学、NPO法人EnVision環境<br>保全事務所)ボランティアベース | 私的利用、研究利用、商用利<br>用等。ただし、商用利用や二<br>次利用等については元データ<br>の規約に準拠<br>無料。                             |